

小林製薬株式会社への企業訪問について

訪問概要

【訪問企業】 小林製薬株式会社
 【訪問日】 平成30年1月30日
 【主な出席者】 <小林製薬> 山根専務取締役
 <大阪労働局> 田畑労働局長



左：大阪労働局 田畑局長
 右：小林製薬 山根専務

意見交換

働き方改革に向けた主な取組(抜粋)

項目	主な内容
長時間労働対策・休暇取得促進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ KPI*を設けた「総実労働時間短縮」の推進 KPI:key performance indicator 重要業績評価指標 (目標の達成度合いを計るための定量的な目標) 年休取得率・時間外労働時間に関して、年間の数値目標を設定し、毎月の経営会議で進捗管理を行っている。平均退社時間は過去2年間で30分短縮できた。将来的には所定労働時間の短縮も検討、さらなる総実労働時間短縮に向けて取り組んでいく。 ✓ メリハリのある職場風土の醸成 総実労働時間の短縮によって労働生産性を高めるだけでなく、プライベートも充実させるため「有意義に休む」ことを推奨している。
女性活躍促進・障害者雇用	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 女性管理職比率10%以上の目標達成に向けて取組中 新卒採用において、女性を4割以上採用することを目標とし、管理職候補の母数を増やしている。 早くから一般職・総合職のコース別採用を撤廃し、女性のキャリア支援のためのワークショップや座談会等を実施している。 ✓ 小林製薬チャレンジド(特例子会社)設立 富山・仙台・三田事業所に30人が在籍しており、主にグループ工場の施設管理・庶務・生産等補助業務についている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 有期雇用者に対し3年満期制を導入し、5年を待たずに無期転換を実施 2017年1月に約100人の契約社員を、4月に約150人の有期パートを対象に無期転換を実施した。

山根専務より

短時間で高いパフォーマンスを発揮できるよう、仕事の中身改革も進めている。スケジュールや業務フローをマネージャーが管理することで、更なる生産性向上に努めている。
 所属団体を通じて、働き方改革に向けた取組について、業界内外に刺激を与えていきたいと考えている。

田畑局長より

総労働時間短縮においては、各種取組により一定の効果をあげていただいている。
 引き続き取組を進めていただくとともに、家庭生活との両立を図れるよう、男性の育児休業取得率の向上に向けた職場環境作りを今後も願いたい。